

授業科目	感染制御学特論 Infectious Disease Control			担当教員	小林 秀光、小川 由起子、隈 博幸		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1-3年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>1) わが国の感染症法や予防接種法の歴史の変遷を理解し、感染の拡大防止に関する行政の役割について概説できる。</p> <p>2) ワクチネーションの理解を通して免疫化学的な感染症予防法、診断法の原理について概説、議論することが出来る。</p> <p>3) 薬剤耐性菌を中心とする院内感染菌の性状を理解し、概説、議論することができる。</p> <p>4) 院内感染の予防と対処法（危機管理業務）を立案し実践することができる。</p> <p>5) 感染症に対する検査法、診断法を概説し、検査データから予防または治療に必要な処置を提案することができる。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	薬剤師として感染症の予防・拡大防止に関心を持ち、他の医療スタッフとの関わり方を身に付ける。			授業への取り組み	15%		
思考・判断	感染症予防や診断に関する問題点を指摘し、改良方法について提案することができる			論文調査、レポート	25%		
技能・表現	臨床検査データから、感染症予防または治療に必要な処置を提案することができる。			演習・発表	35%		
知識・理解	現在行われている感染症の予防法（ワクチンを含む）、同定法、診断法を概説することができる。			論文調査、レポート	25%		
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
レポート 50%(思考・判断：25%, 知識・理解：25%)、授業への取り組み 15%（関心・意欲・態度）および演習・発表 35%（技能・表現）で評価する。							
授業の概要							
<p>近年、新興感染症や再興感染症の問題が取りざたされるようになり、病原微生物から健康を衛る対策はますますクローズアップされている。正確な微生物同定法や臨床診断は、感染症予防のみならず確な医療と薬物療法を提供する上で極めて重要である。特に、感染症の治療においては、原因となる微生物の迅速な同定法は医療行為の成否を左右する重要な因子となる。従って、臨床現場においては、医師や臨床検査技師のみならず、薬剤師もその意義と重要性を深く理解する必要がある。この科目では、病原微生物学および免疫学を包含する感染制御について学び、感染症予防と免疫化学的な診断に関する総合的な対応能力を有する専門の人材（感染制御認定薬剤師）の育成を指向する。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：標準臨床検査医学（第4版）高木康編集：医学書院、この他、必要に応じて資料・プリント等を配布する。</p> <p>参考書：項目に応じて、担当者から指定または紹介する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>感染制御認定薬剤師を指向する者は、本科目の履修を推奨する。</p> <p>オフィスアワーについては特に設定しないが、前以ってアポイントメントを取ることで面談可能である。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	感染症の予防1 わが国の感染症法と予防接種法	(小川) 医療関連感染制御の変遷と、感染制御に関わる法制度について議論する。	予習：微生物の基礎知識と感染症法の変遷について調査 復習：授業内容に関するまとめ
2	感染症の予防2 血液感染と輸血感染の予防	(小川) 留意すべき血液感染症、血液製剤の取り扱い、消毒薬の適正使用について議論する。	予習：血液製剤、消毒薬の種類、使用法について調査 復習：授業内容に関するまとめ
3	感染症の予防3 院内感染と薬剤耐性菌	(小川) 代表的な院内感染症、抗菌薬の適正使用、感染症予防と治療について考察、議論する。	予習：抗菌薬の選択と使用上の注意点、薬剤耐性菌について調査 復習：授業内容に関するまとめ
4	感染症の予防4 院内感染または薬剤耐性菌に関する討論	(小川) エビデンスに基づく感染対策、サーベイランスと感染拡大への対応、医療関連感染対策における薬剤師の役割について考察、討論する。	予習：最近話題になった感染症とその対策について調査 復習：授業内容に関するまとめ
5	感染症の予防5 微生物の分離と同定	(小林) 微生物の種類に応じた分離法と同定法における免疫化学的手法について発表、討論する。	予習：免疫化学的手法による微生物同定法について調査 復習：授業内容に関するまとめ
6	感染症の予防6 ワクチネーションプログラム(抗原検索と抗体作製)	(小林) 現在、わが国で実施されている予防接種について発表を行い、各々のワクチンに関する問題点について討論する。	予習：わが国の予防接種法について、諸外国との比較調査 復習：授業内容に関するまとめ
7	感染症の予防7 ワクチネーションに関する討論	(小林) 新規ワクチンの開発(または改良)を想定し、ワクチネーションプログラムを構築して議論する。	予習：新ワクチンの開発または改良が望まれる疾病について調査 復習：授業内容に関するまとめ
8	感染症の診断1 細菌感染症：溶連菌(ASO)、結核菌、ピロリ菌、寄生虫等	(小林) 現在、臨床現場で実施されている細菌感染症診断の問題点を抽出し、各々の診断法の改良手法について考察する。	予習：細菌感染症診断法に関する調査 復習：授業内容に関するまとめ
9	感染症の診断2 真菌感染症(酵母・糸状菌)：カンジダ、アスペルギルス等	(小林) 現在、臨床現場で実施されている真菌感染症診断の問題点を抽出し、各々の診断法の改良手法について考察する。	予習：真菌感染症診断法に関する調査 復習：授業内容に関するまとめ
10	感染症の診断3 細菌または真菌感染症の診断法開発に関する討論	(小林) 現在、臨床現場で実施されているウイルス感染症診断の問題点を抽出し、各々の診断法の改良手法について考察する。	予習：ウイルス感染症診断法に関する調査 復習：授業内容に関するまとめ
11	感染症の診断4 ウイルス感染症：病態生理	(隈) ウイルス感染による各種検査値の変動を調査し、ウイルスの種類による病態生理の違い、主な感染臓器について整理・考察する。	予習：教科書 p301-303 復習：授業内容に関するまとめ
12	感染症の診断5 肝炎ウイルス検査法の種類と診断法	(隈) 肝炎ウイルス感染の検査法の現状と感染に伴う生化学的検査値の変動及び病態生理についてまとめ、その有効性と問題点を考察する。	予習：ウイルス性肝炎の診断法についての調査 復習：授業内容に関するまとめ
13	感染症の診断6 その他のウイルス(HIV, ATL, EBV等)感染症の検査と診断	(隈) ATLやHIVなど、比較的新しいウイルスの感染症に対する診断法についてまとめ、各々の検査法の現状(感度等)と問題点について討議する。	予習：当該ウイルスの検査法についての調査 復習：授業内容に関するまとめ
14	感染症の診断7 感染症患者の主訴と病態・診断に関する討論	(隈) 感染症患者にみられる一般的な主訴と症状について臓器別・部位別にまとめ、主訴と理学的所見を中心とした感染症診断について討論する。	予習：各種感染症の病態・一般的症状に関する調査 復習：授業内容に関するまとめ
15	まとめ：院内の感染症制御業務における実務薬剤師研究者の役割について討論	(全員) 院内感染の予防と拡大防止について、迅速な感染症診断法と適切な薬剤投与法の重要性を総合的に討論する。	予習：これまでの全ての授業内容のまとめ